

令和4年度 自己評価書

学校名	北海道登別明日中等教育学校
-----	---------------

本年度の重点目標

- (1)個性や能力の伸長に向けた、きめ細やかな学習指導の充実
- (2)生徒の多様化に対応し、健康・安全教育や教育相談活動の充実
- (3)地域と保護者との連携を重視した教育活動の充実
- (4)国際理解・グローバル教育、外国語教育などを通し、外国語(英語)による思考力・判断力・表現力の育成
- (5)6年間を見通した計画的な進路指導の充実
- (6)年齢の異なった生徒による相互交流とボランティア活動、自然体験活動、芸術鑑賞等、異年齢集団による活動や本物に触れる活動の重視

自己評価結果

評価項目・指標等			達成 状況	取組 の 適切さ	改善方策
大項目	中項目	小項目			
教務部	学習指導	1 シラバスを適切に運用し、授業の進度や難易度は適切であったか。	B	B	○シラバスに加えて、単元配列表を活用し、探究的な学びを教科と関連付けるよう教員全体で研修を重ねていきたい。 ○ICT機器を活用する場面は先進的であるが、学校全体で効果的に活用するため、教員全体で研修を重ねていきたい。 ○国際理解教育や外国語活動、異年齢交流など、コロナ禍で制限されてきた活動について、通常通りの実施に戻していきたい。
		2 生徒の学習意欲を喚起させるような方策を立て、実践しているか。	B	B	
		3 クロムブック等ICT機器を活用し、個別・協働的な学習指導を実践しているか。	A	A	
		4 身に付けさせたい資質・能力に基づく、きめ細かな学習指導・評価の充実に努めているか。	B	B	
		5 国際理解教育や外国語教育などを通し、実践的なコミュニケーション能力や語学力の育成を行っているか。	B	B	
		6 異年齢集団による教育活動(行事や部活動等)の充実に努めているか。	B	A	
		7 授業評価の内容および実施は、教職員の資質等を向上させるものであったか。	B	B	
		8 校内研修を計画的かつ定期的に実施しているか。(研修を生かした教育活動を工夫しているか。)	A	A	
生徒指導部	生徒指導	9 生徒指導体制が確立され、状況に応じて組織的に対応しているか。	A	A	○生徒会を中心に本校の特色である異学年間交流を充実させるなど、活発な学校行事の運営等により、学校全体としての明るく過ごしやすい雰囲気を作成していく。 ○教員間での共通理解に基づく指導を行うために、生徒指導部がイニシアチブを発揮し、同歩調で組織的指導が行える体制づくりにより力を入れていく。
		10 発達段階や集団の構成に応じた望ましい生徒集団の育成に努める活動を展開しているか。	A	A	
		11 基本的な生活習慣を確立させるための指導を行っているか。	A	A	
		12 望ましい規範意識の育成につながる自律心を育む指導を行っているか。	B	A	
		13 教育相談体制が整備され、計画的かつ状況に応じた活動を行っているか。	A	A	
		14 いじめや学校不適応生徒への取組や、予防的な取組が適切に実施されているか。	B	B	
進路指導部	進路指導	15 生徒の自治的な活動を充実させる取組が適切に実施されているか。	A	A	○生徒が目標を設定し、その実現方法を考え、目標達成への努力を主体的に負けるよう、教職員・保護者の共通理解を深め、学校全体で一丸となって指導に当たる。 ○生徒の目標達成を担保するには学力向上が必須となり、個々の生徒の状況に応じた指導方法の確立や、データ活用・分析に基づく効果的な進路指導を進める。 ○年内入試・一般入試の両立に向けて、本校生の強みである探究的な学びを活かした指導やセミナーなどによるハイレベルな教科指導を充実させる。
		16 6年間を見通した進路指導体制を確立し、希望進路実現に向けた組織的な指導を行っているか。	B	A	
		17 早期に自己理解を促し、生徒が主体的に進路選択できるように、計画的で系統的な進路指導を行っているか。	B	A	
		18 十分な進路情報の提供を行い、学校・生徒・保護者が一体となった指導を進めているか。	A	A	
		19 効果的な進路指導法の研究を行い、全教職員の指導力向上を図ることに努めているか。	B	B	
		20 進路相談体制を整備し、進路相談の充実を図っているか。	A	B	
生徒指導部	保健・安全	21 セミナーやスタディサプリ、模擬試験等を計画的に実施し、生徒の学習を支援しているか。	A	A	○学校行事において、PTAを中心とした生徒・保護者・学校が一体となった活力のある取組を行うことができるよう工夫する。 ○評価とおした様々な取組の振り返りや学校全体の振り返りを行い、改善を実感できる方策に確実につながるようなサイクルを確立する。 ○学校HPIによる積極的な情報発信により、地域・保護者が学校の教育活動への興味・関心を高めるようなコンテンツの充実を図る。
		22 教職員及び生徒の安全対応能力の向上を図るための取組(交通安全指導・避難訓練等)が行われているか。	A	A	
		23 日常の健康観察や疾病予防、生徒の自己健康管理能力向上のための取組を行っているか。	A	A	
		24 生命を尊重し、思いやりの心を育む指導を推進しているか。	A	B	
		25 校内支援体制が整備されているか。(教育相談、校内委員会、特別支援教育コーディネーター、校内研修等)	B	B	
対外・総務	組織・運営	26 各種行事等におけるPTAとの連絡調整が図られ、適切な運営に努めているか。	A	B	○学校祭の公開や保護者以外にも授業を公開するなど開かれた学校づくりに資する取組を充実させる。 ○様々なイベント等への参加を通じて、本校生徒の学びの様子や成長の様子を広く周知する。 ○学校HPIによる情報発信のさらなる充実によって、地域・保護者が学校の「今」を知ることのできるコンテンツの拡充を図る。
		27 校外の関係諸団体と連絡・調整が図られ、行事等の適切な運営が行われているか。	A	A	
		28 学校評価を軸としたPDCAサイクルが確立されているか。	B	B	
		29 本校の教育活動を広く伝えるため、広報活動等の改善を行っているか。	B	B	
舎務部	寄宿舎	30 生活習慣を確立し、異年齢交流を活かした寄宿舎生同士の良好な人間関係の構築に努めているか。	B	B	○生徒がリーダーシップを発揮した異年齢交流などを積極的に実施する。 ○スクールカウンセラーの面談等を踏まえて、寄宿舎生徒に必要な指導や支援を教職員が組織的に行う。 ○寄宿舎生徒の学習習慣の確立に向けて丁寧な見守りを行う。
		31 主体的に生活改善する姿勢の育成のため、各回生のリーダーやエリアリーダーを中心とした組織運営を行っているか。	B	B	
		32 HR担任や宿直担当、スクールカウンセラーと連携して教育相談を効果的に実施しているか。	A	B	
		33 回生に応じた学習環境の整備と、学習意欲の向上を図っているか。	A	B	
その他	経営方針等	34 道内唯一の道立中等教育学校として、ここでしかできない教育を探究できているか。	B	B	○教育の目標や育てる生徒像などを学校全体で共有し、「ここでしかできない教育」の理念を、「個々の教員の特長を活かすこと」「個々の生徒の状況に応じた最適な学びを提供すること」の2つの視座に置き換え、教職員の一人一人が自信を持って本校の教育活動を担い、その成果や課題を積極的に発信していく。
		35 研究指定での成果を教育活動に応用しているか。	B	B	
		36 校内研修日の完全下校を実施し、研修に努めやすい環境整備をしているか。	B	B	
		37 完全退勤日や部活動休止日の設定など、勤務時間縮減に向けた取組がなされたか。	A	B	

令和4年度 自己評価書

次年度以降の目標設定等に反映させる自己評価結果及びその改善方策事項

- | |
|---|
| <p>(1) 中等教育学校の特色を生かした「ここでしかできない教育」の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の発達段階に応じた「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践による学習意欲、自己有用感の向上・「教育課程の基準の特例」による学びの連続性や「少人数指導」を活かした効率的・効果的な学習指導 <p>(2) 計画的・系統的な教育活動を推進するための組織運営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none">・観点別学習状況の評価を基にした組織的な授業改善に向けた取組の推進・分掌部長、年次主任を中心とする意識的「報告・連絡・相談」による早期からの組織的な対応 |
|---|